

“誰もが いきいきと暮らし
輝くまち いしおか”

石岡みらい創造プラン

(石岡かがやきビジョンに基づくアクションプラン)

平成30年度～平成33年度



石岡市



『石岡みらい創造プラン』

策定にあたって

『石岡みらい創造プラン』を策定いたしました。これは、平成33年度までの長期的な将来構想である『石岡かがやきビジョン』における将来像「誰もがいきいきと暮らし 輝くまち いしおか」を実現するための具体的な行動計画でございます。

本計画は市長任期と連動した平成30年度から平成33年度までの4年間の実行性の高い行動計画です。将来像の実現に向け、当市の抱える課題や多様な市民ニーズに的確に対応するため、4年間の市の方針を定め、効果的なまちづくりを実施してまいります。

本計画では、『石岡かがやきビジョン』で掲げた7つの政策目標を達成するため、47の基本施策を設定しました。それぞれ施策ごとに現況と課題を掲げ、中長期的視点での施策の将来像と、その達成に向けた数値目標を設定し、その指標達成に向けた具体的な取り組みを記載しております。

また、重点的に実施するリーディングプロジェクトにつきましては、市の「みらい創造」に向け、6つのプロジェクトを位置付けています。これらのプロジェクトについては、通常の事務事業や施策の垣根を越えたプロジェクト展開により、効果的に推進していきます。

さらに、施策を展開していくにあたり、環境の変化や多様な市民ニーズに的確に対応するため、計画・実行・評価・改善のいわゆるPDCAサイクルを用いながら、継続的に業務改善を図るなど、運用面においても実行性の高い計画となるよう努めてまいります。

石岡市長

今泉 文彦

目次

第1章 はじめに（総論）

1 アクションプランについて	7
----------------	---

第2章 アクションプラン（行動計画）

1 市の方針	13
2 リーディングプロジェクト	17
3 施策共通テーマ	21
4 施策別行動計画（基本施策）	27
▶ 政策目標1 都市基盤	31
▶ 政策目標2 産業・経済	49
▶ 政策目標3 生活・環境	59
▶ 政策目標4 消防・防災	75
▶ 政策目標5 健康・福祉	85
▶ 政策目標6 教育・文化	103
▶ 政策目標7 行政運営・経営	119

参考資料

- ▶ 石岡市の基礎データ
- ▶ 用語解説

第1章 はじめに

(総論)

1 アクションプランについて

1 アクションプランの構成と趣旨

策定する計画は、将来ビジョン（将来構想）である「石岡かがやきビジョン」（別冊）とアクションプラン（行動計画）である「石岡みらい創造プラン」（本冊）で構成されています。

将来ビジョンは、長期的な展望に立ち、石岡市の目指すべき将来像とその実現のための政策展開の基本方針を示すものとして策定されました。

アクションプランは、将来ビジョン実現のための施策の展開方向や成果指標、主な活動を分野別に示した、市長任期と連動した実行性の高い計画であり、石岡市が直面している課題に対応しつつ、将来ビジョンで見据えた目指すべき将来像に向けた礎づくりと、リーディングプロジェクトによる魅力的なまちづくりを進めていくため、市長の任期期間で何を目指し、どのように行動していくのかを示す計画として策定します。

2 アクションプランの期間

策定するアクションプラン（石岡みらい創造プラン）は、市長の政策提案を踏まえ、石岡市が直面する課題を克服し、将来像「誰もがいきいきと暮らし輝くまち いしおか」実現のため、市長任期に合わせ、平成30年度から平成33年度までの4年間の施策目標を設定するとともに、魅力あるまちづくりのため、通常の事務事業や施策の垣根を越えたリーディングプロジェクト（石岡みらい創造プロジェクト）を設定します。

（アクションプランの期間）

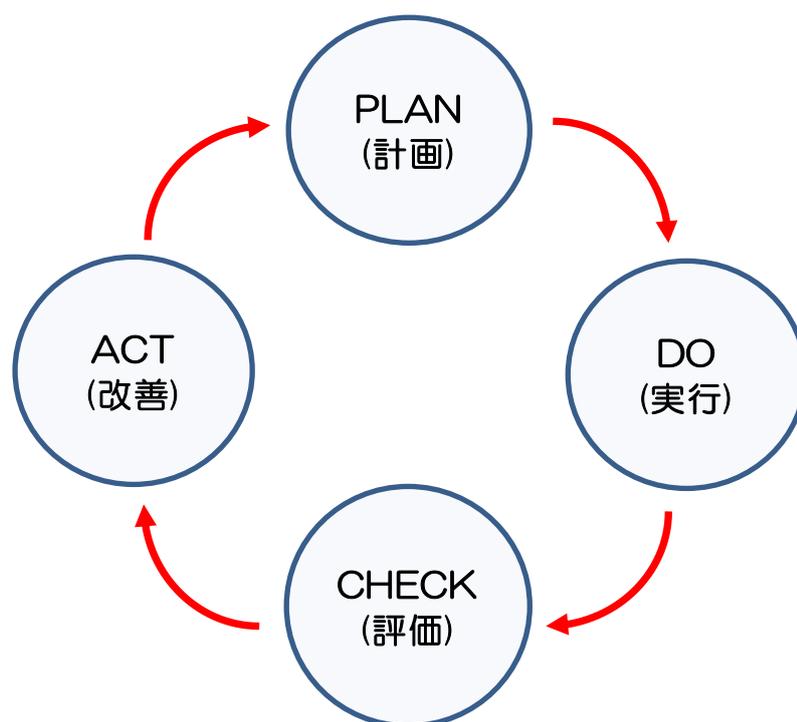
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
将来ビジョン 石岡かがやきビジョン（10年間）									
アクションプラン 石岡かがやき プラン（2年間）									
		アクションプラン 石岡ふるさと再生プラン （4年間）							
						アクションプラン 石岡みらい創造プラン （4年間）			
市長任期 →		← 市長任期				← 市長任期 →			

3 アクションプランの進行管理

アクションプランを着実に実行していくため、PDCAサイクルにより毎年度、進捗状況を踏まえた内容の見直しを行います。

アクションプランは実行性の高い行動計画であるとともに、環境の変化や多様な市民ニーズに的確に対応するため、毎年度の進行管理・内容の見直しにより、改善を続ける計画でもあります。

【PDCAサイクルのイメージ】



PLAN	(計画)	…	現状や課題を整理して計画を立てることです。
DO	(実行)	…	計画に沿って事業を実行することです。
CHECK	(評価)	…	事業実施により得られた成果を評価することです。
ACT	(改善)	…	評価を踏まえて実施事業の改善をすることです。

第2章 アクションプラン

(行動計画)

1 市の方針

（１）市の方針とは

市の方針とは、将来ビジョン実現に向け、アクションプラン全体において重点的に実施することを示すものです。当市の抱える課題や多様な市民ニーズに的確に対応する４年間の市の方針を定めることにより、全施策において、統一性のある事業展開を図り、限りある財源の中で、より効果的なまちづくりを図っていきます。

（２）当市の状況について

当市の人口は、平成17年の合併時から7千人以上減少しており、その対策は、市の活力維持を図る上では喫緊の課題となっています。近年では、人口の社会動態による減少が縮小している傾向にあります。しかし、若い世代の転出が多い傾向にあることや、出生数の低下が生じており、少子化と高齢化の進行とともに生産年齢人口の減少が見込まれています。

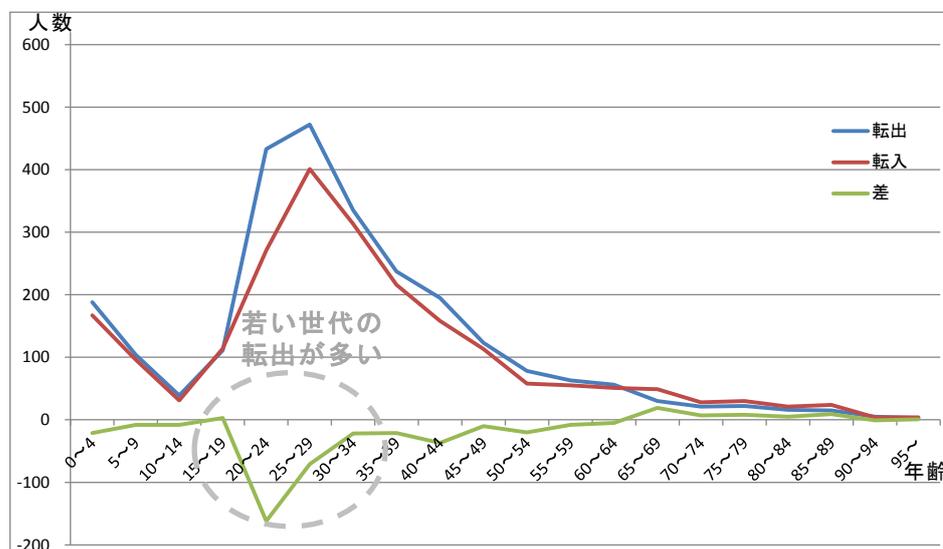
そのような中、常磐線の東京駅・品川駅乗り入れや石岡駅の橋上化整備など都市の魅力の向上や、筑波山地域のジオパーク認定など、新たな地域づくりの可能性が高まっています。

（参考）石岡市の人口動態

年	人口 (10.1)	人口動態 (1～12月)	自然動態			社会動態		
			出生	死亡	計	転入	転出	計
H26	76,713	△ 648	511	897	△ 386	2,233	2,495	△ 262
H27	76,020	△ 742	545	958	△ 413	2,328	2,657	△ 329
H28	75,346	△ 718	508	964	△ 456	2,163	2,425	△ 262
H29	74,666	△ 704	463	943	△ 480	2,162	2,386	△ 224

（茨城県常住人口調査）

・年齢別社会動態（平成28年1月～12月）



(3) 目指す将来像について

市の将来構想である石岡かがやきビジョン（平成 24 年度～平成 33 年度）において、市の目指すべき将来像を次のように定めています。

将来像 「誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか」

目指すべき将来像は、当市が将来にわたって「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」であるために、市民誰もが健康で生きがいを持って心豊かに暮らせる、安全で安心なまちづくりの姿を示し、そして、地域全体が一体となって若い世代を育み、誇りを持って「石岡が大好き」と言える魅力あふれる輝くまちづくりを市民と行政の協働により進めていく姿を示しています。

(4) 4 年間の市の方針

当市の厳しい現状を真摯に受け止め、将来像である「誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか」を目指すため、また、首都圏のなかでも個性輝く魅力的なまちとするため、市の「みらい創造」に取り組みます。

—みらい創造とは

少子化、高齢化とともに、人口減少が進むなか、「住んでみたいまち」「住み続けたいまち」であるために、人口減少に歯止めをかける施策と人口減少・高齢化社会に対応するための施策をバランスよく実行していく必要があります。

そのため、人口減少に歯止めをかける施策として、結婚・子育てがしやすい環境づくりや就労機会の充実を推進します。

そして、人口減少・高齢化社会に対応するための施策として、公共施設の適正配置や持続可能な公共交通機関など、コンパクトな都市構造への転換が求められているなか、安全・安心、そして快適に生活できる環境づくりを図ります。さらに、高齢化が進むなか、健康で生涯にわたり現役で暮らせる環境づくりを推進します。

また、ふるさと石岡を未来に引き継ぎ、誇りを持って「石岡が大好き」と言える魅力的なまちづくりのため、地域資源の魅力の向上と情報発信を積極的に実施します。さらに、地域の素材を利用した石岡ならではの教育の充実を進め、未来の担い手育成に努めます。

これらの取り組みを推進するため、重点的に実施するリーディングプロジェクトと全ての施策、事務事業において常に取り組みする施策共通テーマを定めます。

将来構想 石岡かがやきビジョン

誰もが いきいきと暮らし 輝くまち いしおか



行動計画 石岡みらい創造プラン

4年間の市の方針

みらい創造

共通テーマ

人口減少対策

協働

行財政改革

リーディングプロジェクト

結婚・子育て応援プロジェクト

教育改革プロジェクト

雇用・産業充実プロジェクト

魅力アップ観光交流プロジェクト

安全・安心・快適生活プロジェクト

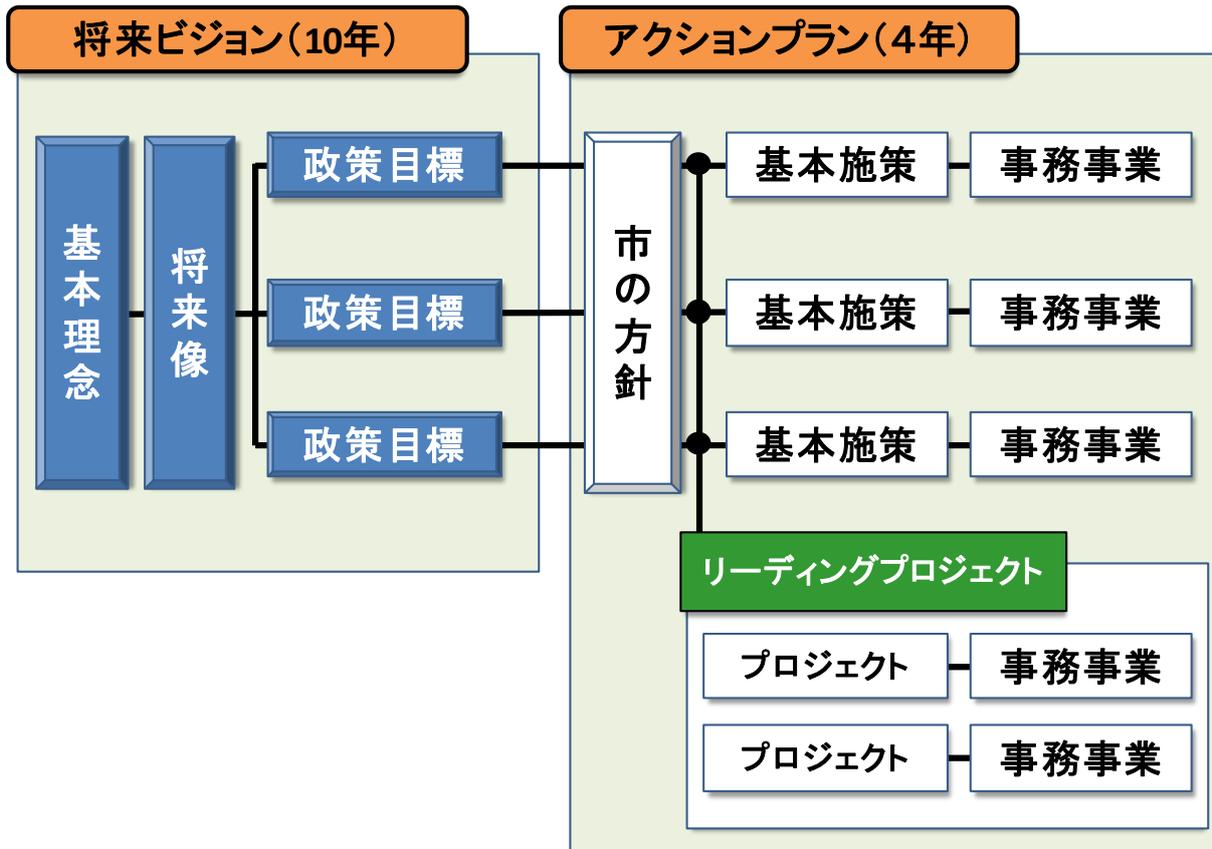
生涯現役・健康プロジェクト

2 リーディングプロジェクト

(1) リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトとは、将来ビジョン実現に向けアクションプラン全体を先導する事業のまとまりのことです。通常の事務事業や施策の垣根を越えたプロジェクト展開により、限りある財源の中で、より効果的な施策展開を図っていきます。

(2) リーディングプロジェクトの位置づけ



(3) リーディングプロジェクトの紹介

アクションプラン計画期間内に実施するプロジェクトとして、市の方針に基づき、みらい創造に向けて実施していくプロジェクトを6本設定しました。

アクションプラン期間内においては、特にこれらに力を入れて取り組むとともに、市内外への積極的な情報発信に努めます。また、アクションプラン期間内に事業実施に至らなくても、将来に向けて検討を進める事業は採用し、事業の進捗状況や今後の社会状況の変化等に応じて、プロジェクトを構成する事業の組み合わせは柔軟に対応していきます。

石岡 みらい創造 プロジェクト

みらい創造

共通テーマ（人口減少対策・協働・行財政改革）

結婚・子育て応援プロジェクト

教育改革プロジェクト

雇用・産業充実プロジェクト

魅力アップ観光交流プロジェクト

安全・安心・快適生活プロジェクト

生涯現役・健康プロジェクト

結婚・子育て応援プロジェクト

人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上が課題となっており、安心して結婚・子育てをすることができる環境の充実が必要となっています。

石岡市では、子どもの健康や子育てに要する費用の支援など、様々な事業に積極的に取り組んでいます。

少子化と多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを産み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。



地域子育て支援センター

教育改革プロジェクト

石岡市には、豊かな自然、歴史があり、地域の素材を利用した、市ならではの教育を推進することのできる環境があります。

児童・生徒が健やかに育ち、豊かな心と生きる力、確かな学力を身につけられるよう未来の担い手育成に努めます。

また、地域と連携し、児童・生徒がいきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりに取り組み、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。



AETによる指導の様子

雇用・産業充実プロジェクト

働く世代の転出抑制，転入促進のため，雇用の創出を図ることが必要となっています。

そのため，市の強みを生かし，農業の振興や，企業の誘致など，産業の振興を図ります。

市内の就業機会の充実を図り，働く世代に魅力的なまちづくりに取り組みます。



新規就農者支援

魅力アップ観光交流プロジェクト

石岡市は，豊かな自然や歴史・文化などの様々な地域資源が多くあります。

これらの地域資源の魅力の向上を図るとともに，市内外に情報発信をすることで，交流人口の更なる増加を図るとともに，首都圏のなかでも個性輝く魅力的なまちづくりに取り組みます。



恋瀬川から望む筑波山

安全・安心・快適生活プロジェクト

日常における安全への備えが重要だと強く認識されています。市内全域での防災行政無線の運用を開始し，災害に対する備えの充実に向けてきました。さらに，安心して暮らせる環境を整えるため，防災や防犯に関する取り組みを推進します。

また，市民生活の向上や産業の振興に欠かせない都市基盤の充実を図り，快適で活力のある都市づくりをすすめます。



平成28年に完成した石岡駅

生涯現役・健康プロジェクト

長寿社会の到来によって高齢者の人口比率は増加し続けています。人生の中で培ってきた豊かな知識や経験を，地域社会の活性化につなげていく視点が重要となり，生涯にわたり現役で暮らせるまちづくりを目指します。

また，2019茨城国体や東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を図り，誰もが健康で生活できる環境づくりをすすめます。



八郷運動公園のウォーキングコース

3 施策共通テーマ

(1) 施策共通テーマとは

基本施策のうち、市の全ての施策に共通して取り組むべきものについて、施策共通テーマとして記載します。

施策共通テーマは、市の将来像実現のために展開される全ての施策、事務事業において常に取り組むべきものです。

(2) 人口減少対策の推進

①人口減少対策とは

本市の人口は国全体よりも早い平成7年（1995年）から減少に転じています。更に日本創成会議が発表した資料では、子どもを生み育てる若年女性（20代・30代）が半減する「消滅可能性都市」に該当しているなど、本市の人口は今後これまでに以上に急速な減少が予測されています。

人口の減少は消費や経済力の低下を招き、今後の経済社会や一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されており、本市においても人口問題への対応が喫緊の課題となっています。

②人口減少対策の進め方

人口減少が進展するなか、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるようにするため、「人口減少対策」を施策共通テーマとして位置付けます。

平成27年10月に策定した「まち・ひと・しごと石岡市創生総合戦略」のなかで掲げている基本目標「時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る」の実現に向け、以下の取り組みを推進します。

○時代に合った地域をつくる

- ・良質かつ持続可能な公共施設サービスの実現
- ・コンパクトな都市構造の検討
- ・小中学校の適正規模・適正配置の検討

○安心して心豊かな暮らしを守る

- ・空き家の適正管理の推進
- ・持続可能な公共交通ネットワークの検討
- ・地域コミュニティの維持、強化

(2) 協働によるまちづくりの推進

①協働によるまちづくりとは

近年、少子高齢化の進行、市民ニーズの多様化、地方分権の進展など、社会情勢が大きく変化する中で、私たちは、環境、福祉、教育など暮らしに密接に関わる分野で、様々な課題に直面しています。

これらの課題を解決するには、市民と市が連携、協力し、まちづくりに取り組んでいくことが一層大切です。

これらの課題を解決するには、市民、地域コミュニティ、市民公益活動団体、事業者が、市と連携、協力し、まちづくりに取り組んでいくことが一層大切です。

そのため、市は協働の基本的ルールである「石岡市協働のまちづくり条例」を制定し、取り組みを進めています。さらに、条例で定めた役割を実践していく仕組みづくりを構築していきます。

②協働のまちづくりの推進の基本理念と役割

条例では、より良い地域社会の実現のため、協働のまちづくりの基本理念を定めるとともに、市民、地域コミュニティ等と市の役割及び相互の関係を定めています。

基本理念

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1)市民等及び市は、相互の特性及び役割を理解し、連携、協力すること。(2)市民等及び市は、相互に対等な立場で自主性及び自立性を尊重すること。(3)市民等及び市は、相互に必要な情報を提供し、共有すること。 |
|--|

(市民の役割)

- ・地域の課題等に対し自発的に取り組むよう努める。
- ・市民公益活動及び市政に積極的に参加するよう努める。

(地域コミュニティの役割)

- ・地域住民のつながりを強くするとともに、地域の課題等の解決に向けて計画的に取り組むよう努める。
- ・地域住民の積極的な地域活動への参加を求め、より良い地域づくりに努める。

(市の役割)

- ・市政に市民等が参加できるための施策を積極的に提供するよう努める。
- ・市民等と連携、協力するとともに、協働のまちづくりを推進するため、適切な施策を実施するよう努める。

(3) 行財政改革の推進

①行政を取り巻く背景

地方自治体は、その最大の目的である「住民福祉の増進」を図るため、安定的・持続的に公共サービスを提供していく必要があります。

しかし、人口減少や少子高齢化の進行、高度化・多様化する公共サービスへの需要など、本市を取り巻く環境は大きく変化をしています。また、公共サービスを実施する上でも、人的・財政的制約が大きくなっています。

このような中、市民に期待される公共サービスを実施し、かつ、公共サービスを向上させるためには、「最小の経費で最大の効果を上げる」「組織及び運営の合理化に努める」といった従来の削減型の行財政改革だけでなく、市民と行政との協働の推進や事業の再評価・重点化、行政の担うべき分野や行政資産の配分の見直しなど、多様な行財政改革が求められています。

②行財政改革の取り組み

このような背景の中、市民に期待される公共サービスを実施し、「石岡みらい創造プラン」を実現するため、「行財政改革の推進」を施策共通テーマとして位置付けます。

この改革においては、先にあげた背景を踏まえ、平成27年3月に第2次石岡市行財政改革大綱を策定し、将来にわたり公共サービスを維持・向上させるために、『行政資産の強化と公共サービスの最適化』をテーマに掲げ、計画的に取り組んでいます。さらに、平成29年3月に石岡市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の適正な維持管理の取り組みを進めています。

大綱のテーマ「行政資産の強化と公共サービスの最適化」

○『行政資産の強化』とは

公共サービスを提供するために必要となる、「人財（ヒト）」「財産（モノ）」「財源（カネ）」の「3つの財」と「情報」を「行政資産」と位置付け、この行政資産を強化することにより、資産配分の選択肢を増やします。

○『公共サービスの最適化』とは

市民満足度が高い公共サービスを実施するため、市が保有する限られた行政資産を最も有効に活用し、公共サービスの選択と集中を行う「資産配分の最適化」を行います。また、高度化・多様化する公共サービスへの需要（ニーズ）にこたえるため、行政以外の民間の力を活用する「提供主体の最適化」を行います。

これらの最適化により、本当に必要な公共サービスを、最も適切な量と質、提供主体、提供方法で行います。

4 施策別行動計画（基本施策）

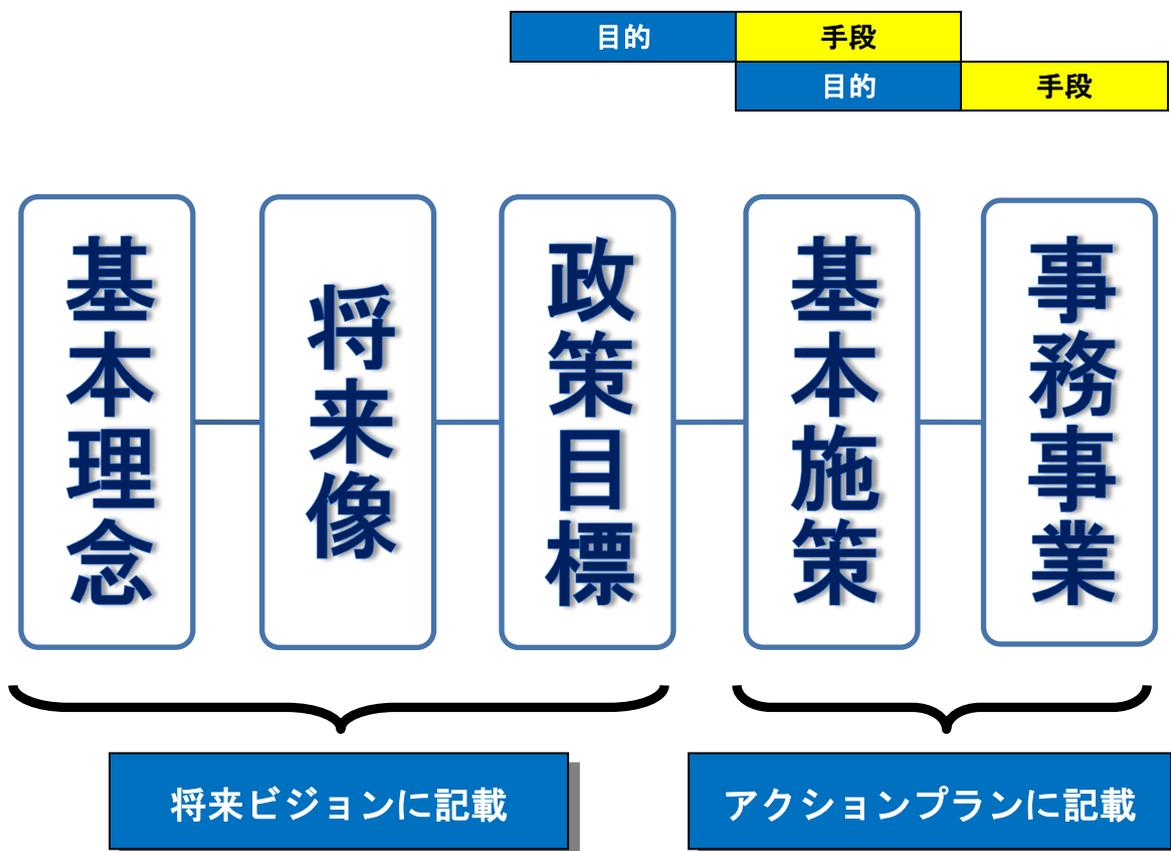
(1) 施策別行動計画（基本施策）とは

施策別行動計画（基本施策）では、施策単位で、長期的視点（将来ビジョン目標年次である平成33年度または、それ以降）での将来像を見据えつつ、中期的視点（アクションプラン目標年次である平成33年度を展望）に立った将来像実現のために、石岡市のおかれている現況と課題を把握し、アクションプラン期間内において、主要事業に代表される各種事業を実施していきます。

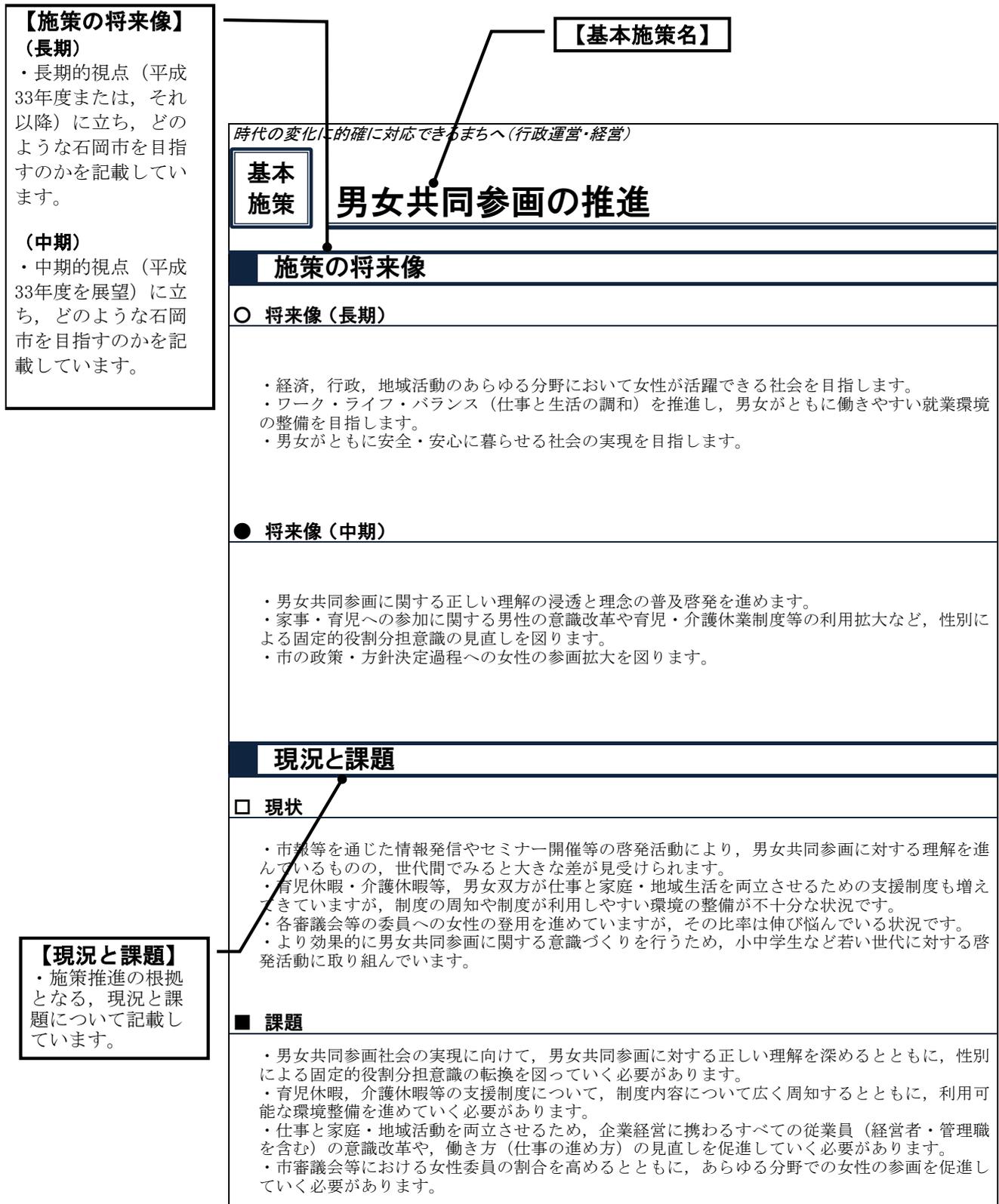
また、施策展開の進捗状況については、成果指標を設定することで継続的に検証し、より効果的・効率的な取り組みとなるよう、PDCAサイクルに活用していきます。

(2) 基本施策の位置づけ

「政策」と「施策」、「施策」と「事務事業」はそれぞれ目的と手段の関係になっています。将来ビジョンにおける「政策」とは、将来像実現のために市が目指すべき部門別のまちづくりの方向性や目的を示すものであり、「施策」とは将来ビジョンに明記された「政策目標」達成のための手段であり、「事務事業」とは施策を実現するための具体的手段、つまり予算に直結した個別事業を指します。



(3) ページ構成



【成果指標】

・施策を推進することによって得られる「成果」を検証するために設定する指標です。
 ・目標値はアクションプラン目標年次である**平成33年度**を見据えています。

【主担当課名】

政策企画課

成果指標**◆ 成果指標（将来像に向けた数値目標）**

指標名	指標の説明	単位	現状値	目標値
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	23.6 (H28)	30
石岡市男女共同参画基本計画の認知度	石岡市男女共同参画基本計画を知っている市民割合	%	12.0 (H28)	30
市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進状況	市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の割合	%	34.7 (H28)	50
性別による固定的役割分担意識を持たない市民の割合	「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛同しない市民の割合	%	54.3 (H28)	60

主要事業**◆ 主要事業（成果指標達成に向けた取り組み）**

事業名	石岡市女性人材登録制度
事業概要	市政に関心のある女性を募集・登録しデータベース化、審議会等の委員選定時に利用する制度です。
担当課	政策企画課
事業名	セミナー・講演会等の開催
事業概要	男女共同参画社会の実現へ向けたセミナー・講演会等を開催します。
担当課	政策企画課
事業名	小中学生向け出前授業
事業概要	性別による固定的役割分担意識の転換を図るため、小中学生を対象に出前授業を実施します。
担当課	政策企画課

【主要事業】

・アクションプラン期間内における主要事業を記載しています。

関連計画

・第2次石岡市男女共同参画基本計画

【関連計画】

・施策展開において関連する、計画名称を記載しています。

施策の大綱(参考)

【基本理念】 【将来像】

【政策目標】

【基本施策】

